

職業能力開発研究

第 20 卷

2002年

〈論 文〉

- 学習支援教材開発の方法 島田 昌幸
 — 遠隔学習と評価 — 新妻 幹也
 菊池 達也
 平村 良紀
- 職業能力開発大学校における応用課程の現状とその課題 山見 豊

〈研究ノート〉

- 社会的共通資本としてのエルゴナジー 村瀬 勉
 田中 萬年

〈紹介又は解説〉

- 労働者の教育・訓練観に関する日米比較研究 田中 萬年
- 日本における技術者教育認定制度 平山 正己

「職業能力開発研究」誌投稿規定

【投稿規定】

原則として職業能力開発総合大学校の教職員に限る。共同執筆者は学外者であってもよい。

【投稿の種類】

職業能力開発に関する論文、研究ノート、資料、紹介または解説とする。原則として、他紙に掲載されたものを重複して投稿できない。

【原稿の長さ】

論文、研究ノート、資料、紹介又は解説のいずれにおいても400字詰原稿用紙約50枚（図表含む）を標準とする。英文抄録をつける。

【投稿、採択、校正】

投稿原稿は「職業能力開発研究」編集専門部会事務局宛に提出する。原稿の受付けは年1回とし、締切日は別に定める。原稿の採否は編集専門部会で決定し、投稿者に通知する。査読の結果、修正を要する場合は速やかに修正のうえ、再提出して審査を受けなければならない。校正は著者が3回まで行い、それ以降は編集専門部会に一任する。掲載された原稿は返却しない。

【執筆規定】

1. 本文：400字詰原稿用紙50枚（図表を含む）を使用のこと。ワードプロセッサ等を用いる場合は64字×27行（A4版横置き・袋とじ縦割り）とすること。
 2. 英文抄録：200語以内とし、A4版用紙にダブルスペースで印字する。
 3. 図表（写真を含む）：1つの図表ごとに別紙を用いる。図表は白紙（又は淡い方眼紙）にトレース又は、プリンタ、プロッタ等で作成し、できあがり時の寸法を記すこと。
 4. 文献：本文の最後に列記する。書き方は下記による。
 - ①雑誌＝著者名、表題、雑誌名、巻（号）、発行年（西暦）、引用ページ
 - ②書籍＝著書あるいは編者名、書名、発行所、発行年（西暦）、引用ページ
 5. 用字・用語：現代かなづかいとする。アラビア数字を使うこと。
-

職業能力開発研究

第 20 卷

目 次

〈論 文〉

学習支援教材開発の方法 ……………	島田 昌幸	1
— 遠隔学習と評価 —	新妻 幹也	
	菊池 達也	
	平村 良紀	
職業能力開発大学校における応用課程の現状とその課題 ……	山見 豊	27

〈研究ノート〉

社会的共通資本としてのエルゴナジー ……………	村瀬 勉	57
	田中 萬年	

〈紹介又は解説〉

労働者の教育・訓練観に関する日米比較研究 ……………	田中 萬年	85
日本における技術者教育認定制度 ……………	平山 正己	103

(英文要約)